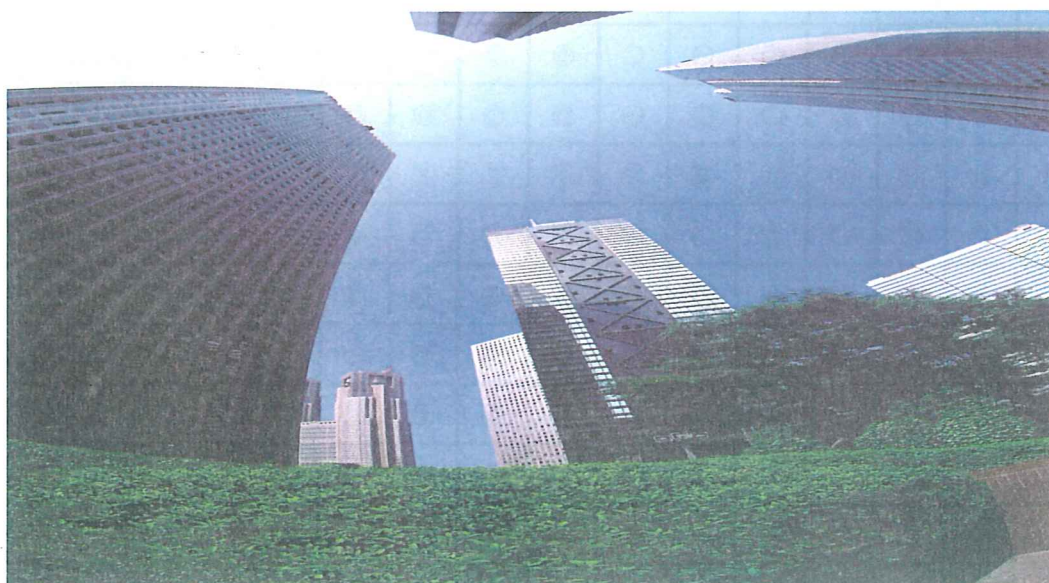


JWMCA
廃コン協

社団法人日本廃棄物コンサルタント協会
21世紀ビジョン【改訂版】

新たな展開に向けて

概要版



社団法人日本廃棄物コンサルタント協会

ビジョンの主旨

平成16年10月に法人化10周年を迎えた（社）日本廃棄物コンサルタント協会は、平成9年策定の「旧ビジョン」を改訂し、協会21世紀ビジョン「新たなる展開2005」として広く社会へのメッセージとして提示するとともに、協会および会員は、このビジョンの基本方向に沿って具体的な活動を展開します。なお、このパンフレットは、協会21世紀ビジョン「新たなる展開2005」の概要を示すものです。

1. 基本方針

1. 1 行動理念

- ◆循環型社会形成の推進並びに適正処理による地球規模での環境保全に貢献します。
- ◆クライアントの期待にこたえ十分な満足を与えると同時に、社会の信頼を得ることによって、コンサルタントの社会的地位の向上を目指します。

1. 2 行動の基本方針

- ◆コンサルタントの独立性を保持し、高い倫理観を持って社会から信頼を得る
クライアントの立場に立ったコンサルティング及びサプライヤーからの独立性、中立性の保持により、クライアントおよび社会から高い信頼を得るよう行動します。
- ◆コンサルタントの社会的役割についての世論形成に努める
コンサルタントの社会的役割について、その理解を深めるために関係機関に積極的な働きかけを行い、世論形成に努めます。
- ◆コンサルタント業務の高付加価値化を図る
循環型社会の形成へ向け、各々の分野において技術の開発・創造に努め、研究開発の成果を取り入れて業務の付加価値を高めます。
- ◆技術の研鑽、開発と新市場への展開を図る
クライアントの循環型社会戦略に対し、明確にナビゲーションアンドサポートが出来るよう、技術の研鑽及び開発に取り組みます。

2. 市場の動向とコンサルティング能力

2. 1 市場規模

税収の減少、行財政運営の見直し、市町村合併等により、廃棄物処理施設の整備事業にかかる従来型の業務量が減少する一方、資源循環、環境保全、資産管理等の観点から、あるいは海外業務等の新たなコンサルティングも求められています。

2. 2 期待されるサービスとコンサルティング能力

◆計画関連領域

これからは、地域住民を主体とした循環型社会及び地球環境保全に配慮した計画策定が求められています。

このために、処理体系構築能力、導入技術評価能力、事業実施計画策定能力、収集・運搬計画策定能力、プレゼンテーション能力をより一層充実します。

◆処理・処分施設関連業務領域

中間処理施設、最終処分施設は、地域における循環型社会戦略を具体化するためのツールとして、総合的な施設整備と統括的監理が求められています。

このため、施設機能診断能力、施設計画能力、整備計画能力、環境リスク評価能力、実施計画、実施設計能力、施工監理能力、運営管理計画能力をさらに強化します。

◆生活排水処理関連業務領域

し尿や生活排水処理の向上を目指し、下水道、農業集落排水等、関連事業との連携及び浄化槽設置事業等の充実に向けて、総合的な計画策定が求められています。

このため、処理体系構築能力、実施設計・設計管理及び施工監理能力、運営管理計画等の総合的な能力向上に努めます。

◆産業廃棄物関連業務領域

環境保全の徹底など合意形成を目指した施設整備、産業廃棄物リサイクルに関する支援業務に関するコンサルティングサービスが期待されています。

このため、経営支援能力、技術システムの計画・開発能力、技術の評価能力、適地選定・評価能力、環境リスク評価能力等の向上に努めます。

◆国際業務関連領域

途上国における処理施設の整備に伴うコンサルティングが期待されています。

このため、海外業務にも対応した総合計画能力、事業経営、組織制度のコンサルティング能力、民間事業戦略立案やコーディネート能力等を高めます。

3. 新たなる展開に向けて

3. 1 マクロ環境の変化

21世紀における次のようなマクロ環境の変化に迅速かつ柔軟に対応し、質の高い先進的なコンサルティングに努めます。

- ①本格的な3R時代の到来を見据えた、エネルギー計画を含む地域社会づくりへの貢献
- ②交付金制度に伴う地域の独自性と創造性に満ちたごみ処理・リサイクル事業等の提案
- ③ごみ処理事業の民営化拡大や環境産業の発展・進出による民間需要の増加
- ④新たな発注方式（電子入札、公募等）による参加機会の増加
- ⑤ごみ処理事業を推進するための事業主体への様々な支援業務の展開
- ⑥建コン登録による地位確保、顧客への認知、信頼性の向上
- ⑦公共工事品質確保法に沿った価格の適正化、適正報酬の推進
- ⑧高い顧客満足度の獲得を目指す成果の評価システム構築

3. 2 協会ビジョン

社団法人日本廃棄物コンサルタント協会が21世紀に向けた、基本スタンスと戦略展開シナリオを協会ビジョン改訂版として以下に提示します。

企業倫理、技術者倫理の確立

コンサルタントはクライアントの利益を最大にするのは勿論ですが、最終消費者である国民に対する責任もまた負っています。企業倫理を確立しコンプライアンスを堅持することを最優先課題として取り組みます。コンサルタント技術者も技術士法に基づく義務と技術者倫理を厳格に遵守することが求められます。協会として技術者の資質の向上を図っていきます。

技術研鑽と技術力の向上

各種研究委員会、セミナーを通じて、会員同士が相互に協力し、コンサルタントの技術研鑽を図り、循環型社会形成の統合的な戦略提案を構築します。

経営基盤の安定化

独立性、中立性を保持し、社会の信頼を高める中で、経営基盤を安定、強化します。

PR活動の促進

クライアントをはじめとする関係者に、コンサルタントの技術能力と、その社会的意義を積極的に提唱します。

3. 3 当面の協会活動展開

- ◆ 企業倫理と技術者倫理の確立を目指して、メーカー、ゼネコン等とは一線を画して、独立性、中立性を確保する活動を展開いたします。
- ◆ コンサルティング能力の向上を目指して、技術部会活動における新規テーマへの取り組み、既存分野の深度化並びに他分野との連携による新規分野への展開、アセットマネジメント分野の技術提案などの活動を展開いたします。
- ◆ 会員の経営基盤の安定化を目指して、プロポーザル方式等の適正競争方式の導入促進、発注者支援業務への参画、インハウスエンジニアとしての参画など新たな業務への取り組みを展開いたします。
- ◆ PR活動の展開により会員相互の情報の共有化を図るとともに、研鑽・研究成果、新規業務分野開拓成果などについて積極的な対外広報活動を行って、各方面に対して、協会への認識を深める活動を展開いたします。

この概要版に対する原本のご請求およびお問い合わせは、下記へご連絡ください。

社団法人日本廃棄物コンサルタント協会	
〒105-0014 東京都港区芝2丁目3番3号 芝二丁目大門ビル7階	
TEL. 03-3769-2335 FAX. 03-3769-2336	
E-mail jwc@haikonkyo.or.jp	URL www.haikonkyo.or.jp

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています。